

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【祝子川辺地総合整備計画について】</p> <p>①祝子川辺地総合整備計画とはどんなものか教えてほしい。</p>	<p>①辺地指定を受けた地域の市道整備計画を策定することで国の制度（辺地債）を活用して事業を実施することができるというもの。</p> <p>国の指定した名称が「祝子地区」となっているが、実際の指定範囲は「北川町祝子地区」に該当する。</p>	<p>祝子川辺地総合整備計画は、令和元年度から5年度までの5か年計画で、橋梁の補修や道路の舗装改良、観光施設の改修など6事業を予定しています。</p> <p>令和元年度には、武平橋補修、下大崩橋補修の2事業を完了しました。</p> <p>令和2年度には、木戸屋岩スリ線舗装改良、祝子川温泉改修、森林レクリエーション施設改修の3事業を完了する予定です。また、上祝子上鹿川線舗装改良事業は、令和5年度に完了する予定です。</p>
<p>【道路標識について】</p> <p>②レーヨン工場から多々良地区までの道路標識に「祝子」と記載されているが、「上祝子」が正しい表記だと思う。修正してほしい。</p>	<p>②管理者である県と協議を行う。</p> <p>また、当該県道（通称 富美山通線）は区画整理完了後に市道に移管することを検討中。市道になった場合は市で看板を整備したい。</p>	<p>現地を確認した結果、該当する案内標識は市道富美山通線に1基、県道岩戸延岡線に1基の計2基確認できました。市道富美山通線については、将来県に移管される予定となっています。県に案内標識の表示内容について確認したが、北川町における上祝子地区や下祝子地区を総称して「祝子」と表記しており、間違いであるとは考えていないため、修正する予定は無いとのことです。</p>

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【行滕～鹿狩瀬の道路整備について】-1 ③区長連絡協議会の会長であった山口美三雄氏が退任する際、行滕～鹿狩瀬の道路整備を市に要望していたはずだが、その後どうなったか。</p>	<p>③至急詳細を確認したい。</p>	<p>平成28年度に要望書が提出されている。鹿狩瀬行滕線は、急勾配や急カーブの区間があるが、全線にわたって概ね4m以上の幅員はあることから拡幅改良の必要性は低いと判断しています。しかし、路肩の草木が繁殖する時期は、実質的な道路の幅員が確保されていない状況となっていることから、適切な時期に除草伐採を実施し、道路の有効幅員の確保を行っています。</p>
<p>【行滕～鹿狩瀬の道路整備について】-2 ③区長連絡協議会の会長であった山口美三雄氏が退任する際、行滕～鹿狩瀬の道路整備を市に要望していたはずだが、その後どうなったか。</p>	<p>③黒岩地区の道路は改良が不完全だと考えている。国の電源立地地域対策交付金を活用して整備を進める。</p>	<p>電源立地地域対策交付金については、これまでの協議内容や要望をふまえ、黒岩各地区における事業へ順次充当しているところです。</p>
<p>【稲葉崎桑平線の市道について】 バスが通らなくなったためか、樹木が生い茂るなど維持管理が遅れている。維持管理のスピードを上げてほしい。</p>	<p>市道について。令和元年度は道路関係予算を例年に比べ増額して対応しているが、まだまだ追いついていない。鋭意取り組んでいきたい。</p>	<p>令和2年6月4日に要望者と現地立会を実施済み。樹木等で市道の通行に支障がある箇所については、民地内の樹木であったため、対応が困難である旨を話したところ、甲斐会長から土地所有者に対して樹木の伐採を依頼していただくこととなりました。</p>

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【黒岩地区の生活道路2線の整備について】 整備は下（富美山町側）から進められており、立花食品付近で整備がストップしている。 県に要望しても反応が悪く、地域住民への説明が乏しい。 地域住民と一緒に考える体制づくりに協力してほしい。</p>	<p>市も地域住民の声を県に届けている。用地買収など、市も一緒に取り組んで行きたい。 県に要望する前に、どういう手法で県に働きかけていくか、事前協議を行いたい。</p>	<p>県道岩戸延岡線の整備促進については、毎年、整備期成同盟会のご尽力を頂き、市と連名で県に対し要望活動を行っています。 本路線は現在、小中学校付近の歩道整備を含めた道路改良を行っており、まずは通学路の安全を図って頂いているところです。 事業主体となる県が工事に着手する際の地元説明会の開催について、区長への相談をしたところ、コロナ禍の状況を考慮し書面での説明となったと伺っています。 今後も地域住民との連絡を密に行うよう県へお願いしたところです。</p>
<p>【電源立地地域対策交付金について】 毎年黒岩地区に交付されていたが、今後他地域にも割り振るため、数年おきの交付となる旨の説明があった。 なぜ変更となったのか教えてほしい。</p>	<p>平成28年頃に国の制度改正があり、要件が厳しくなり、市の事業や広域的な事業に使うこととなり他地域の事業に割り当てていた。 しかしながら、黒岩地区の道路整備等はまだまだ未完成であるため従来の方針に戻した。 当該交付金を割り当てるためには、黒岩地区対象の市事業を予算化する必要があったため、少し時間が掛かったが、今後は黒岩地区の、主に道路整備に交付金を割り当てていく。</p>	<p>今後とも、交付金制度の趣旨をふまえ、黒岩地区の要望や道路整備の状況等を確認しながら、対応いたします。</p>
<p>【佐野川の土砂について】 ①佐野川沿いの道路に土砂が溜まっており、1kmほど撤去してもらったがその後どうなったか。</p>	<p>①市道部分については土砂撤去済。県にも要望している。優先度の高いところから冠水対策を進めていく。</p>	<p>県が管理する佐野川の土砂浚渫は令和2年6月上旬に完了しました。毎年度、出水期前には健全な水路断面を確保して頂くよう引き続き要望を行います。</p>

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【道路整備の要望について】 ②市に要望すると「県道だからやれない。」という説明をされる。やめてほしい。</p>	<p>②職員への指導を徹底する。県に今まで以上に地域の声を届けられるように仕組みを変えていく。</p>	<p>土木課では市民の皆様からお受けしたご要望については、報告書を作成しその対応等に間違い等がないかチェックする体制を整えています。同じ過ちを犯さぬよう、職員一同気を引き締め市民に寄り添える職員となるよう精進します。</p>
<p>【「広報のべおか」について】 ファイリング時に不便のため、ファイリング用の穴を開けた状態で「広報のべおか」を配布してほしい。</p>	<p>事業経費全体のバランスを考える中で検討していきたい。 今後、分かりやすい広報の在り方について検討していく。必要な情報が必要な人に届くようにしていきたい。</p>	<p>「広報のべおか」につきましては、毎月49,500部を発行しており、自治会等を通して各家庭へ配布しております。広報のべおかへのファイリング用の穴をあけることにつきましては、印刷製本の工程に入れるだけで、年間数百万円程度の費用が必要になること及び製作日数が延びることから行っていないのが現状です。 今後は、新たな広報のあり方検討委員会での検討や市民のニーズ等を把握しながら必要な措置を図ってまいりたいと考えております。</p>

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【宮長町の道路について】 ユネスコエコパーク登録後、地元住民以外の車の交通量が増えた。 当該道路は速度制限が40km、スクールゾーンは30kmとなっているが標識もなく、スピードを出して走る車が多い。 警察や県に要望したが、「速度おとせ」の文字を道路に書いてくれただけだった。 拡幅等の予定はないのだろうか。市長の見解を聞かせてほしい。</p>	<p>北方町でも地域の道路に不慣れな車の交通量が増えたと聞いている。県に働きかけていきたい。 また、国土強靱化事業の影響もあり北川町の道路整備が進みだした。 道路、河川の安全に力を入れていきたい。</p>	<p>県道岩戸延岡線の整備促進については、毎年、整備期成同盟会のご尽力を頂き、市と連名で県に対し要望活動を行っています。 本路線は現在、小中学校付近の歩道整備を含めた道路改良を行っており、まずは通学路の安全を図って頂いています。 今後も宮長町付近の県道改良についても要望していくが、グリーンベルト帯整備により通学児童の安全を図れないかについても要望を行います。</p>
<p>【もりき谷川沿いの砂利について】 先の大雨により「もりき谷川沿いの市道」を越流し人家まで砂利が入ってきている。その下方にある杉林も山砂利が出ている。 「さかみや」についても2カ所、人家の傍まで砂利がある。確認してほしい。</p>		<p>森木谷川の堆積土砂については、令和2年1月に要望箇所の撤去は完了しているが、現地調査を行ったところ、さらに上流部にも土砂の堆積が見られたことから、「緊急浚渫推進事業」の撤去計画に位置付けをしているので、堆積状況を確認しながら、計画的な撤去を実施していきます。 坂宮谷川については、現地調査を行ったところ、土砂の異常堆積は見られなかったが、県が管理する砂防区域となっているので、延岡土木事務所へ情報提供をし、今後の状況を注視していきます。</p>

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【介護保険について】 コーディネーター制度が始まり3年目を迎えた。延岡市は埼玉県和光市の「和光方式」を採用しているが、最近「延岡方式」という言葉を耳にする。 どういった内容なのか。説明してほしい。 コーディネーター方式を廃止した場合の代替案があるか教えてほしい。</p>	<p>介護保険制度の地域支援事業をもっと活用していきたい。 国も緩やかに制度を変えていくため、動向に注視しながら必要な事業が遂行できるようにしていく。 「和光方式」は多数のサービスが準備されていることが前提となっており、個別事例を掘り下げていくことで適切なサービスを提供でき、結果的に介護保険の削減にもつながる。 延岡市はサービスの選択肢をもっと増やしていかねばならない。延岡にあった方法（延岡方式）を推進していく。</p>	<p>延岡方式とは、介護保険における自立支援や重度化防止を進めるために、高齢者の身体や環境などに延岡市の地域の実情に配慮した延岡市独自のサービスである。公共交通と連動した行政主体型の一般介護予防事業といった延岡の環境に沿った取組みを行っていきます。 生活支援コーディネーターについては委託先の法人の意向をヒアリングした上でその役割について協議を行い、現在5法人と委託契約を結んでいます。</p>
<p>【市の介護保険に関わる職員について】 市の介護保険に関わる職員はもっと現場に出て実情を把握してほしい。 もっと柔軟に対応できる仕組みづくりをしてほしい。</p>	<p>健康長寿のまちづくり課をつくり、積極的に外にでるようにしている。 現場に出て、現状に即した対応を実施することは必要。 健康長寿のまちづくり課の仕組みを活用し取り組んでいきたい。</p>	<p>介護保険課、高齢福祉課、健康長寿のまちづくり課、健康増進課といった、介護保険に関わる職員は出前講座や地域住民との座談会等、積極的に地域に出ています。 地域包括支援センター運営を主管とする健康長寿のまちづくり課の職員は、包括支援センター職員と利用者宅へ同行訪問を行い、サービス提供事業所を定期的に訪問し、地域高齢者や介護現場の実状把握に努めています。</p>

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【西階の野球場はフェンスについて】 ソフトボールの審判をしている。 西階の野球場はフェンスが低いので高くしてほしい。</p>	<p>「アスリートタウン延岡」を再構築しなければならないと考えている。 国民スポーツ大会の軟式野球は延岡で実施することが決まっているため、国体までには野球場を整備していく。 また、西階地区に平時は屋内練習場となる防災拠点建設を予定。</p>	<p>西階野球場は、第81回国民スポーツ大会において、軟式野球とソフトボール（成年男子）の会場となることが決定しました。今後、中央競技団体や関係者の意見等を踏まえながら、「する人」にも「観る人」にも快適な施設になるよう整備を進めていく考えです。</p>

質 問	市長の回答	対応状況
<p>【黒岩小中学校体育館について】 黒岩地区の避難所は黒岩小中学校体育館。ステージ前の照明が不足しており暗い。以前から要望があるため、照明を増設してほしい。 災害時の情報収集のためテレビ線を引いてほしい。 校舎付近の路面舗装がなされておらず、避難者が濡れてしまう。舗装をお願いしたい。 道路から学校へ侵入する坂道の法面について、吹き付けをお願いしたい。</p>	<p>各避難所の機能を整備していく中で順次取り組んでいきたい。</p>	<p>体育館の照明につきましては施設管理者と相談をし、検討していきたいと考えています。 災害時の情報収集につきましては、テレビは停電時には情報収集できなくなる可能性があるため、避難場所に携帯ラジオを配備していますので、そちらで情報収集をお願いします。 また、延岡土木事務所に確認したところ、黒岩小中学校前の県道岩戸延岡線拡幅工事に伴い、県道から進入する坂道は一時的に撤去され、拡幅工事終了時に再度取り付けられ、その際には法面はすべてモルタル吹付で施工予定であるとのことです。 坂道の撤去期間が令和2年11月から令和3年8月頃の予定ですので、その間は現在の駐車場が使用できません。来年の出水期前には避難時の駐車場及び駐車場から体育館までの経路について地域の皆さんにお知らせさせていただきます。</p>